



ユニバーサル東校生になろう



3.すべての人に 健康と福祉を

3 すべての人に
健康と福祉を



GOAL 3

Good Health and Well-being

具体的な現状と課題



- ・ 日本では介護職員が不足している。
- ・ 高齢化が進み、認知症の人も増加している。
- ・ 日本では、身体障害者が全人口の3.4%を占めている。
- ・ 日本は世界と比べて第9位と自殺率が高く、その中でも健康問題に関する自殺の割合が高い。
- ・ ヤングケアラーの数が4%を超えられている。

解決策 仮説①

健康や福祉は生きる全ての人に関係するととても大切なことである。

しかし、私たちは健康と福祉についての知識が乏しいのではないかと思う。

そこで、まずは「全ての人」とはどのような人なのかを身をもって体験してその人たちの視点に立つことが必要である。



学術的考察①

健常者と呼ばれる私たちがさまざまなハンデのある状態を体験する。

そうすることによって、私たちが、何をどのように感じるのか。

私たちは何ができるのか。

体験を通して今までの自分が見てきた世界と、これから見える世界が少しでも変われば「すべてのひとに健康と福祉を」が少しでも身近になると思う。

教室



解決策 仮説②



福祉や健康を保つためにはお金が必要不可欠である。
しかし、お金を集めるのはとても困難なことである。
特に私たち学生には。

そこで、私たちはエコキャップを集め、ワクチンに変え
貧困な地域にいる人たちを病気から救うことに協力したい
と考えた。



① ペットボトルキャップは、回収業者によってリサイクル資源として売られます



② 売られた際の売却益がJCVへの寄付となります



③ UNICEFと連携して、世界のワクチン工場へワクチンを発注します



④ 製造されたワクチンは冷蔵・冷凍状態のまま、空輸で支援国へ届けられます



⑤ 支援国のワクチン保管センターの冷蔵庫・冷凍庫で保管されます



⑥ 各地の予防接種会場で子どもたちへワクチンを接種します

学術的考察②

まず、それぞれの家庭からペットボトルキャップを持ってきてもらう。
そして、それを使って的当てゲームに参加できる。
キャップが多ければ多いほどゲームがたくさんできるし、貢献もできる。
的には貧困地域での現状が描かれていて、ペットボトルキャップで的を倒し、
ペットボトルキャップを寄付して問題も解決できるという仕組みになっている。

ペットボトルキャップは
ワクチンになる！ ☆





まとめ



全ての人が健康に生活し、福祉活動が活発化するためには一人一人の現状理解が必要である

ただ理解することが難しいがためにいまの現状を招いていることがわかった
そのため自分たちで経験し少しでも自分ごととして捉えられるために私たちはこの仮説を立てた

自分のことで毎日が精一杯な私たちが理解することは小さな力に過ぎないかもしれないがだれかを救うことができるかもしれないとこの時間を通して学ぶことができた
またそれがユニバーサルな世界に繋がるのだと思う□